

# 令和3年度 やまがたre-v-ing すずらん通りにおける社会実験の概要

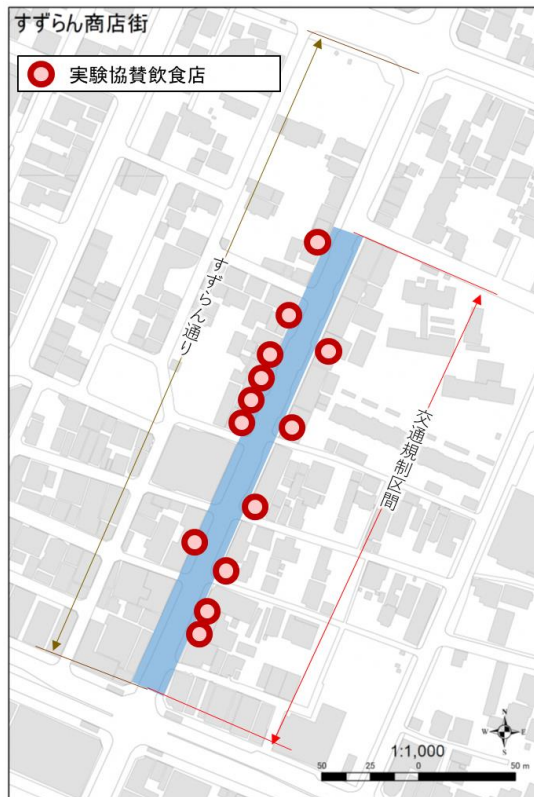


やまがた  
Re-v-ing

- ★大手門通りすずらん商店街と市が協働で実施した社会実験です。
- ★コロナ禍により広報やイベントを大々的に実施することはできませんでした。

## 1. 社会実験の実施概要

- ・市が歩行者天国化し、沿道店舗が道路空間を利活用
- ・令和3年8月20、21、27、28日、9月3、4日  
(金曜日及び土曜日)
- ・18時～21時半(車両交通規制は22時まで)
- ・9月4日のみ10時～21時半



▲交通規制区間と協賛飲食店

## 2. 調査事項

滞留行動調査／ビジターアンケート調査  
／店主アンケート調査

## 3. 滞留行動調査の結果 (3分以上一定の場所に居る人を滞留者と定義)

- ・夜間で合計800人の滞在を確認(※)
- ・18～39歳が6割弱と多い
- ・友達・知り合いが中心
- ・参加店舗の多かった場所、イベント実施箇所  
で人が多い
- ・中間区間は店舗の間の休憩場所として機能
- ・800人中座っていた人が446人、立っていた  
人が354人
- ・800人のうち、355人が飲食による滞在者
- ・コンサートイベントやダンスイベント等に  
群がる人たちが144人

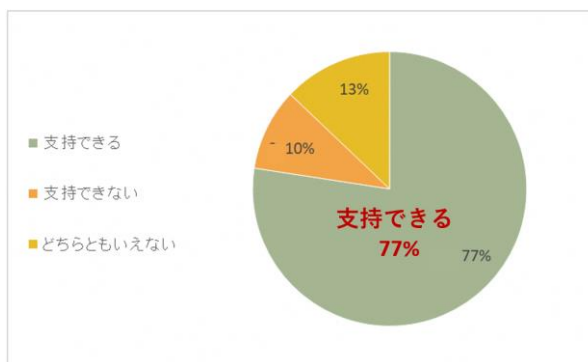
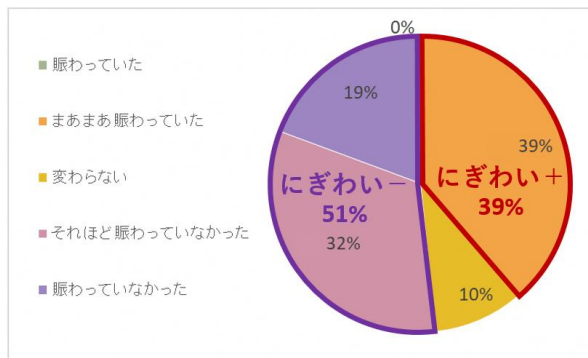
⇒歩行者天国化により、沿道店舗による積極的な  
利活用や滞留する人々が生じることが明らかに  
⇒座ってゆっくり楽しむ場として機能していた  
⇒飲食空間としての屋外空間ニーズが高く、参  
加店増により更なる賑わい形成が期待される

(※) 2時間に1回、調査員が30分かけて路線を往復し  
確認した人数であり、実数はこの値よりも多い

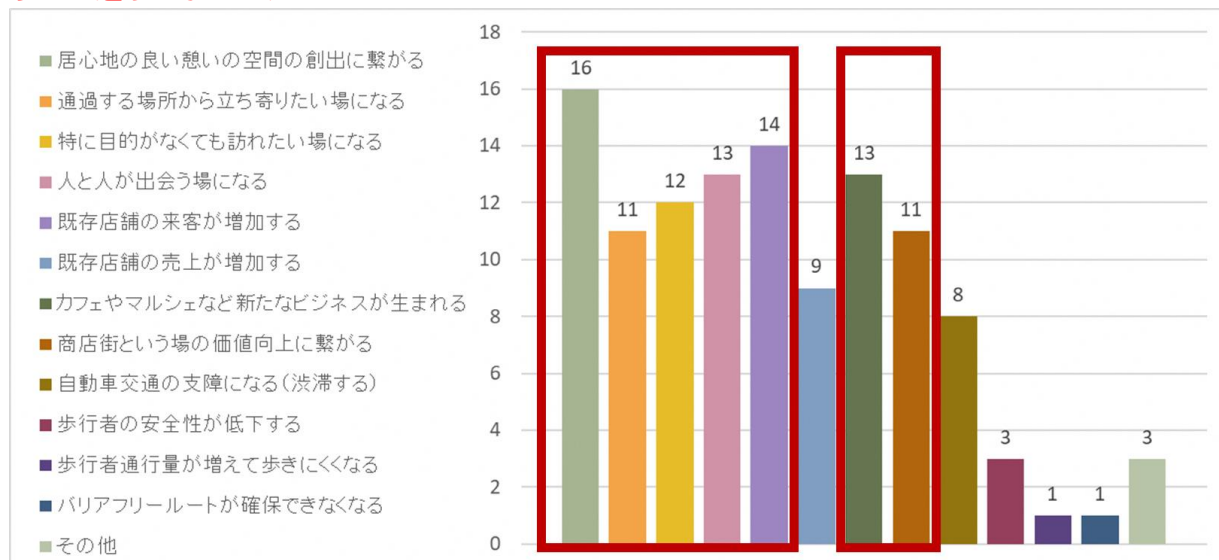


#### 4. ビジターアンケート調査結果概要

- ・賑わっていた+まあまあ賑わっていたが、それほど賑わっていなかった+賑わっていなかったよりも低い
- ・但し、期間中は令和3年8月20日～9月15日の「感染拡大防止特別集中期間」と重なったことも影響したと考えられる。
- ・実験への支持では、支持できるが大多数を占めた。
- ・実験を通じ、居心地の良い憩いの空間、既存店舗の来客増、カフェやマルシェなど新たなビジネス、特に目的がなくても訪れたい場所になる等多様な効果への期待が見られた。



⇒大きな賑わいよりも、ゆっくりと過ごしいろいろなコンテンツを楽しめる居心地の良いすずらん通りが求められている



#### 5. 商店主アンケート調査結果概要

- ・実験への感想では、「まちづくりの方向性がイメージしやすくなった」「歩行者数が増加した」といった効果が見られた。
- ・来客や売り上げへの効果は、来客数では5件、売り上げでは3件と一部ではあるが効果があった。

⇒今後のまちづくり検討や、積極的な道路利活用による来客・売り上げ増が期待できる結果に

#### 6. ParkingDay

- ・9月17日に、路上パーキングスペースを人のための空間に変える世界中のムーブメントである『ParkingDay』に参加。
- ・一般社団法人ソトノバ協力のもと、地元プレイヤーとともに実践

